



認定 NPO 法人 ミュージック・シェアリング

International Community Engagement Program

インターナショナル・コミュニティー・エンゲージメント・プログラム

2016 ネパール 実施報告書

認定 NPO 法人 **ミュージック・シェアリング**

〒102-0092 東京都千代田区隼町2-12 藤和半蔵門コープ708

TEL: 03-3261-1855 FAX: 03-3261-1856

E-mail: info@musicsharing.jp

認定NPO法人 ミュージック・シェアリング

ミュージック・シェアリングは、1992年より、文化・芸術の振興と子どもの健全育成を目的として活動するNPO法人です。本物の音楽を通して子どもたちの豊かな心を育てるとともに、音楽家の社会貢献活動に対する理解を深める場を提供する音楽プログラムを実施しています。ミュージック・シェアリングの活動は個人や法人・団体の皆様から寄せられるご寄付、協賛金、助成金で運営しています。

インターナショナル・コミュニティ・エンゲージメント・プログラム (ICEP)

「インターナショナル・コミュニティ・エンゲージメント・プログラム」(以下 ICEP)は、五嶋みどりが若手演奏家とカルテットを結成しアジアの開発途上国を訪れ、子どもたちの普段の生活の場にクラシック音楽の生演奏を届ける国際交流の活動です。

これまでに、ベトナム(2006年)、カンボジア(2007年)、インドネシア(2008年)、モンゴル(2009年)、ラオス(2010年)、バングラデシュ(2012年)、ミャンマー(2013年)で実施し、アジア訪問の翌年には日本で報告コンサートを開催しました。2016年12月にはネパールを訪問し、2017年6月に東京と大阪で活動報告コンサートを行います。



ICEP 2つの目的

◆未知の文化体験をアジアの子どもたちに

訪問する国の子どもたちは、身近な場所でクラシック音楽の生演奏を聴く機会がほとんどありません。子どもたちのクリエイティビティー・相互理解・向上心を育む一助となるよう、視野を広げ明日への夢を抱くきっかけ作りを提供します。

◆世界各国の若手演奏家とともに活動

五嶋みどりとカルテットを組むのは、世界からオーディションにより選ばれた若手演奏家3名。オーディションでは録音審査以外に小論文やメールインタビューの課題を設け、総合的に評価しています。若手演奏家がICEPでの経験を通じて音楽のもたらす力について見つめ直し、音楽家としてできる社会貢献活動とはどのようなことなのか、実体験を通じて認識していきます。

日本での活動

ICEP訪問国での活動を日本国内に発信するため、アジアツアーの翌年、日本でカルテットを再結成しています。演奏とともに訪問国での活動について演奏家自身が語る「ICEP 活動報告コンサート～五嶋みどり & Young Artists」の実施に加えて、日本の小学校、施設、病院等を訪問する「訪問プログラム」にも参加し、日本の子どもたちにも、本物の音楽を届けます。

参加アーティスト



Photo: Timothy Greenfield-Sanders

五嶋みどり (ヴァイオリン)

11歳でニューヨーク・フィルとの共演でデビュー以来、世界のトップヴァイオリニストとして欧米でも最もポピュラーな音楽家。演奏活動に加え20年以上日米を中心に地域密着型の社会貢献活動を展開し、音楽家による社会活動のモデルとして先導的役割を果たす。南カリフォルニア大学ソーントン音楽学校「ハイフェッツ・チェアー」兼特別教授。2007年より国連ピース・メッセンジャー。使用楽器はグアルネリ・デル・ジェス「エクス・フーベルマン」(1734年作)。
<http://www.gotomidori.com/>



ヘレミアス・セルジャーニ-ヴェラスケス (ヴァイオリン) *Jeremías Sergiani Velázquez*

ブエノス・アイレス・ヘラルド紙他からも絶賛され、アルゼンチンヘブライ財団コンクール、ニューイングランド音楽院アンサンブルコンクールで第一位を受賞した。最近では、オルフェウス室内管弦楽団のメンバーとして、ニューヨークのカーネギーホールやドイツのドレスデン聖母教会で演奏。アルゼンチン出身のヘレミアスは3歳からヴァイオリンを始め、10歳でソリストとしてデビュー。ニューイングランド音楽院で学士号を取得後、ジュリアード音楽院で修士号を取得。アルゼンチン・モーツアルテウムよりテレサグリユナイゼン奨学金を受けている。
www.jeremiasviolin.com/



ウェンホン・ルオ (ヴィオラ) *Wenhong Luo*

14歳で、中国放送交響楽団でデビューを果たして以来、中国各地の多くのオーケストラと共演。2010年ロンドンに拠点を移し、英国王立音楽院にてマーティン・アウトラム教授に師事。同年セオドア・ホルランド・ヴィオラ賞を受賞。2012年、第19回ヨハネス・ブラームス国際コンクールで第3位。ライオネル・ターティス国際ヴィオラコンクールにて、2013年度セミ・ファイナリスト及び特別賞、2016年度には第3位を受賞。現在、ニューイングランド音楽院にて、キム・カシュカシャンに師事。



マイケル・カツ (チェロ) *Michael Katz*

「力強い豊かな音色」(ストラド・マガジン)、「繊細な音楽の才能」(ニューヨーク・タイムズ)と高く評されるイスラエルのチェリスト、マイケル・カツは、北米、ヨーロッパ、日本、イスラエルで、ソリストそして室内楽奏者として活躍している。2011年のアビブ・コンクール3部門で入賞、2010年のジュリアード協奏曲コンクール、2005年のツルエマン・コンクールで1位を獲得するなど多くのコンクールで才能を認められている。イツァーク・パールマン、五嶋みどり、アンソニー・マーウッド、ドナルド・ワイラースタインなど多くの演奏家と共演。ニューイングランド音楽院、ジュリアード音楽院で学位取得。ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校にて博士号を取得。

訪問国

ネパール連邦民主共和国

面積

14.7 万平方キロメートル
(北海道の約 1.8 倍)

人口

2,649 万人
人口増加率 1.35%
(2011 年, 人口調査)

首都

カトマンズ



民族

パルバテ・ヒンドゥー (43%)、マガル (7.1%)、タルー (6.5%) 等、民族は 100 以上

言語

ネパール語

宗教

ヒンドゥー教徒 (81.3%)、仏教徒 (9.0%)、イスラム教徒 (4.4%) 他

略史

紀元前7～8世紀頃キラート族による統治により国家が誕生したといわれる。西暦300年を過ぎると、北インドのリッチャビ族が王朝を設立。7世紀にはタクリ王朝に移り、チベットとの友好関係を結ぶ。この時代にネパールの文化芸術が大きく開花し、その後のマッラ王朝時代で多くの寺院や宮殿が建造された。マッラ王朝はその後3つの王朝に分裂し、さらに地方にたくさんの王国が誕生。中でも有力だったシャハ家がゴルカ王朝を統べ、プリスビー・ナラヤン・シャハ王は各地の公国を次々に倒し、3王国を従え1769年までにネパール統一を実現。カトマンズに王都を定めた。このシャハ王朝が、2008年まで続いたネパール最後の王朝となる。2008年にギャネンドラ国王が退位し、連邦民主共和制へと移行された。

訪問都市 カトマンズ ポカラ バラトプル ルンビニ ゴルカ

活動概要

活動期間	2016年12月18日～12月28日
プログラム回数	計21回 訪問コンサート 19回 国連・大学でのコンサート 2回
参加者総数	4,375名
主催	認定NPO法人ミュージック・シェアリング
助成	日本万国博覧会記念基金（公益財団法人 関西・大阪21世紀協会）
協賛	キッコーマン株式会社、フォーデイズ株式会社 三井石油開発株式会社、花王株式会社、小学館
協力	大本山 増上寺 UNIC Kathmandu, Nepal（国連広報カトマンズ） 外務省「日・ネパール外交関係樹立60周年記念事業」

スケジュール

日程		都市	行事	会場・場所
12/18	日		日本 発	
			ネパール 着	
12/19	月	カトマンズ	プログラム 1	HRDC (Hospital for Rehabilitation of Disabled Children)
			プログラム 2	Siddhi Memorial Hospital
			プログラム 3	United Nations House
12/20	火	ポカラ	ポカラへ移動	
			プログラム 4	Shree Mani Jyoti Lower Secondary School
12/21	水	ポカラ	プログラム 5	Amar Singh Blind School (盲学校)
			プログラム 6	Amar Singh Model Higher Secondary School
			プログラム 7	Shree Bindhyabasini Secondary School
			プログラム 8	SOS Tibetan Children's Village
12/22	木	ポカラ	プログラム 9	Bal Vidhya Mandir School
			ゴルカへ移動	
12/23	金	ゴルカ	プログラム 10	Tanglichowk Community
			バラトプルへ移動	
12/24	土	バラトプル	プログラム 11	SOS Children's Village
			プログラム 12	Gurukul School
			プログラム 13	Dawn Academy Bharatpur
			ルンビニへ移動	
12/25	日	ルンビニ	プログラム 14	Nav Jeevan English Boarding School
			プログラム 15	Lumbini Heritage Plaza
			カトマンズへ移動	
12/26	月	カトマンズ	プログラム 16	Basu Higher Secondary School
			プログラム 17	Gentle Heart Foundation
12/27	火	カトマンズ	プログラム 18	Nepal Model School
12/28	水	カトマンズ	プログラム 19	Hilfe für Nepal
			プログラム 20	Samakhushi English Boarding School
			プログラム 21	Kathmandu University Music Department
				帰国

各訪問先と活動の様子

【カトマンズ】

プログラム1 HRDC (Hospital for Rehabilitation of Disabled Children) / 病院

日 時 12月19日(日)
参加者数 約180名(患者70名、その他110名)

カトマンズの地域診療所。
特に肢体障がいの子どもたちの治療を行っている。



プログラム2 Siddhi Memorial Hospital / 病院

日 時 12月19日(月)
参加者数 約95名(患者60名、その他35名)

病院のロビーと高齢者のケアセンターでの演奏。



プログラム3 United Nations House / 国連

日 時 12月19日(月)
参加者数 約80名(被災地の生徒35名、その他45名)

国連ハウスにて、国連スタッフの他、地震で被災したカトマンズの学生、駐在フランス大使、駐在日本大使の方々への演奏会。



今日は2つの病院と国連事務局でコンサートを行いました。今日の体験はとても記憶に残る有意義なもので、音楽を人々と共有することは、こんなにも大切に美しいことなのだと実感しました。病院のほとんどの子どもたちは、クラシック音楽の生演奏が初めての体験で、演奏している間に彼らの目の色がとてもピュアで情熱に満ちたまなざしに変わっていききました。子どもたちと交流する時間には、私の弓を持ったりきらきら星と一緒に演奏したりしました。喜んで嬉しそうな彼らの姿に心を動かされました。

ウェンホン・ルオのブログより

【ポカラ】

プログラム4 Shree Mani Jyoti Lower Secondary School／学校

日 時 12月20日(火)

参加者数 約30名(生徒約20名、その他10名)

観光地としても有名なサランコットの丘の上にある小さな学校を訪問。生徒一人一人に楽器体験をしてもらうなど子どもたちと触れ合うことができた。



午後は小学校を訪問しました。狭い教室の前方で、モーツァルト、シューベルト、シュニトケ、チャイコフスキーを演奏しました。子どもたちは喜んで私たちの楽器をトライし、とても楽しそうで、本当にかわいくて大好きになりました！ 楽器の音を聴いて素直に反応する子どもたちの笑い声には心が和みます。プレゼンテーションの終わりの質問コーナーでは、(アルゼンチンはどこにあるの？—メッシの故郷だよ—そうなんだ。イスラエルって何(イスラエルという国の存在を子どもたちは知らないので「どこ」ではなく「何」と聞いてきます)？中国はどこ？—山の向こうよ。日本は前に聞いたことがあるよ・・・というようなやりとりがあり) いろんなバックグラウンドの演奏家が集まって一緒に演奏できるものなのか、と質問されました。これは私のお気に入りの質問で、私たちが大好きな音楽をみんなに届けたいと思って集まり、今、ここで演奏できるように特別な努力をしていることを伝えます。この3人の若い演奏家たちは、私が10年前に始めたこのプログラムに参加したいと応募してオーディションを受けてここに来ました。私たち全員がここに来られるようになるまでに楽器を毎日一生懸命練習して、さらに勉強を続けるために留学したりしていることも話します。子どもたちにはよく考えてほしい、伝えたいたくさんのメッセージがあるのです。

五嶋みどりのブログより

山の集落の地元の小学校を訪れましたが、子どもたちはこれまでクラシック音楽を聴いたことも楽器を見たこともなく、僕たちの訪問をとっても喜んでいました。最初にモーツァルトを演奏し始めると、子ども達はとても戸惑ったようで、多くの子どもたちが笑い出しました。予想しなかった素晴らしい反応でしたが、子どもたちは僕たちを凝視し音楽に魅了され、感動した様子がはっきりとわかりました。最高だったのは、いつもの楽器体験の時でした。子どもたちに、僕たちの楽器に触れて弾いてもらうのです。最初は恥ずかしがっていましたが、すぐにクラス中が弾いてみたりしました！聴衆と出会う経験はいつも意味のあることですが、人生で初めてのクラシック音楽を子どもたちに届けることができたという体験を、僕は決して忘れないでしょう！

マイケル・カツのブログより

【ポカラ】

プログラム5 **Amar Singh Blind School**／盲学校

日 時 12月21日(水)

参加者数 約50名(生徒40名、その他10名)

盲学校での演奏。手を取って楽器に触れてもらった。



プログラム6 **Amar Singh Model Higher Secondary School**／学校

日 時 12月21日(水)

参加者数 約400名(生徒300名、その他100名)



プログラム7 **Shree Bindhyabasini Secondary School**／学校

日 時 12月21日(水)

参加者数 約360名(生徒約300名、その他60名)



プログラム8 **SOS Tibetan Children's Village**／ 児童養護施設

日 時 12月21日(水)

参加者数 約150名(子ども約120名、その他30名)



盲学校へ向かいました。子どもたちは、音楽や私達が話すことにとても注意深く耳を傾けていました。楽器体験(子どもたちに楽器を見せたり楽器に触ってもらう時間)の時、彼らは触感で楽器のことを知ろうとしているようでした。実際に音を鳴らし始めた時の彼らの驚きや喜び、そして好奇心の入り混じった表情をみるのは、素晴らしい経験でした。次に近くの別の学校に移動して、興味津々の300~400人くらいの子どもの前で演奏しました。演奏後に子どもたちと話をし、少しだけ彼らのことを知ることができたことは、本当に良かったです。彼らも私たちのことをとても知りたがっていました!それから10分ほど離れたところにある学校で演奏をしました。庭で演奏すると、子どもたちが周りに集まってきました。彼らからよく見えて、よく聴こえる、この演奏スタイルはとてもいいと思いました。最後にチベット難民キャンプに行きました。ここには、130人余りの11歳以下のチベットの子どもたちのための部屋や家屋がありました。キャンプのディレクターから白いチベットのスカーフを頂くなど、大変温かく歓迎していただきました。私たちの演奏後には、子どもたちがとても素敵なダンスを披露してくれました!

ヘレミアス・セルジャーニ-ヴェラスケスのブログより

【ポカラ】

プログラム9 Bal Vidhya Mandir School／学校

日 時 12月22日(木)

参加者数 650名(生徒約600名、その他50名)

屋外での低学年の子どもたちへの演奏の後、
1クラス約30人の教室を10クラス訪問。



【ゴルカ】

プログラム10 Tanglichowk Community(Chepang village)／地震被災地

日 時 12月23日(金)

参加者数 約100名

ショートプログラムを演奏後、村の人たちから踊りと歌を披露。

2015年の大地震により校舎が倒壊したが、DCA(ダン・チャーチ・エイト)とECOネパールの援助で仮設校舎が建設。



早朝にゴルカの町から人里離れたFurkedandaの村へと、冒険は始まりました。まず地震の被害を受けた農村の地域の人々のために、きれいな水や暮らしのサポート、教育の提供など素晴らしい活動をしている現地のDCA(ダン・チャーチ・エイト)のチームに会いました。僕たちが訪れた村は、ネパールで最も貧しい少数民族のチェパン族のコミュニティで、農業に従事している家庭が大部分を占め、多くの子どもたちが家族を助けるために学校を中退しなくてはなりません。

Furkedandaに行くのは簡単なことではありませんでした。ゴルカから90分車に乗った後、長いつり橋を渡って川を渡りました。そしてさらに、とてもでこぼこした山道をジープに乗って上りました。この人里離れたコミュニティへ到着するのにほぼ40分かかり、この村の人達が生活用品を調達したり仕事のために一番近くの町へ行くことが、どれほど大変なことがわかりました。

すぐにドラムの音や歌で出迎えられ、首に花飾りをかけられました。地震で多くの家や学校が倒壊し、生徒たちは現在DCAの支援によって建てられた仮設校舎で授業を受けています。僕たちは、犬や山羊そして巨大蜘蛛など村全体に囲まれるようにして、外で演奏をしました。ネパールで私達が訪れた多くの場所と同様に、この村の人や子どもたちは誰もクラシック音楽を聴いたことがなく強烈な経験だったようです。

マイケル・カッツのブログより

【バラトプル】

プログラム11 SOS Children's Village／児童養護施設



日 時 12月24日 (土)

参加者数 約 210 名 (140 名、その他 70 名)

プログラム12 Gurukul School／学校



日 時 12月24日 (土)

参加者数 約 25 名 (生徒 15 名、その他 10 名)

土曜日だったため、少人数の生徒が参加。
教室での演奏。

プログラム13 Dawn Academy Bharatpr／学校



日 時 12月24日 (土)

参加者数 約 25 名 (生徒 15 名、その他 10 名)

メンバーの訪問を心待ちにしていた子どもたちは、
プログラムを満喫し、クラシック演奏聴いて
大変感銘を受けていた。

今日は3箇所で行いました。バラトプルのSOS子ども村、科学と数学に重点を置いているグルクルスクール、子どもの創造性に基づいた教育を10年生まで行っているダウンアカデミーの3箇所です。2つの学校は土曜日で週末のお休みでしたが、子どもたちが演奏を聴きに来てくれたことが嬉しかったです。ダウンアカデミーの何人かの生徒が私たちに会うために早く来て、演奏前に一緒に過ごしてくれました。希望に溢れ周りの世界に興味津々の彼らの様な子どもたちと活動を行うと、自然といつも再びやる気に満ちてくるのを感じます。今日、みどりやICEPカルテットが演奏した音楽の奥深さを、彼らはしっかりと感じ取ったようです。

チャド・キャノンのブログより

【ルンビニ】

プログラム14 Nav Jeevan English Boarding School／学校

日 時 12月25日(日)
参加者数 約650名(学生300名、その他350名)

ルンビニの基督教の学校にて、クリスマスコンサート。
屋内コンサートに続いて、屋外で子どものためのserenade
(セレナーデ・コンサート)を行う。



プログラム15 Lumbini Heritage Plaza／ルンビニ世界遺産広場

日 時 12月25日(日)
参加者数 約150名

ユネスコに登録された世界遺産ルンビニのブッダ生誕地の
近くでのコンサート。



ホリデーシーズン中に海外で過ごす、いつも変わった経験ができます。初めて ICEP のツアーに参加した三年前、ミャンマーのミッチーナで難民の基督教徒の人々とクリスマスのお祝いをしたことは忘れられない経験でしたが、今回のネパールでのクリスマスも同じくらい特別なものとなりました。クリスマスイブの夜遅くにブッダの生地であるルンビニに到着しました。ゴータマ・ブッダの母であるマヤデビ姫が里帰りの途中に、ルンビニの庭園を不意に立ち寄り息子を出産したとされています。1896年に再発見されて以来、この神聖な庭は世界中から何千万もの仏教徒の巡礼地となっています。

しかしながら、今日は基督教の全寮制学校での演奏からスタートしました。仏教徒にとって最も神聖な場所のひとつであるこの場所の近くに基督教のコミュニティーがあることは驚きの発見でした。通常のプログラムの曲目に加え幾つかのクリスマスキャロルを演奏して、クリスマスのお祝いに参加しました。彼らのほとんどが歌詞を知らないにもかかわらずメロディーに親しんでいて、私たちの演奏を喜んでくれました。

マイケル・カツツのブログより

【カトマンズ】

プログラム16 Basu Higher Secondary School／学校

日 時 12月26日（月）
参加者数 約85名（生徒約75名、その他10名）

放課後、学校の集会場での演奏。
試験期間中にもかかわらず、多くの学生が参加。



プログラム17 Gentle Heart Foundation／母子生活支援施設

日 時 12月26日（月）
参加者数 約30名（子ども17名、その他13名）

キリスト教系の孤児院と、虐待からの回復プログラムを受けている女性のためのリカバリーセンターで演奏。



バクタプルにあるバスースクール（高等学校）を訪問した後、ジェントル・ハート財団によって運営されている児童施設に行きました。全く違うバックグラウンドを持つ我々4人の音楽家が、17世紀（または他の時代）に遠い国々で

書かれた作品を演奏する特別な時間を、ここで生活する子ども達と一緒に過ごせたこと—それら全ての異なる存在が同じ空間にいるという奇跡に近い幸運を感じずにはおれませんでした。私達は文化、言語、世代、行政、利害の垣根を超えて集まっているのです。これほど強い絆は他にあるのでしょうか？バックグラウンドについて、あるプレゼンテーションでマイケルが話したことですが、私達4人の音楽家が生まれた国々（アルゼンチン、中国、イスラエル、日本）は、75年前には西洋クラシック音楽が文化として一般的ではありませんでした。

75年とまでいかななくても50年前に世界で何が起きていたか振り返ってみてください。環境や状況は大きく変わりましたね。50年先はどうなっているのでしょうか？50年後ってそんなに遠い先の話ではないですよ

五嶋みどりのブログより

【カトマンズ】

プログラム18 Nepal Model School / 学校

日 時 12月27日(火)

参加者数 約275名

2つの教室をクラス訪問と、屋外での演奏。



次に訪問したのは、ネパールモデルスクールで、英語での授業や、他にも大切な技術の授業がある学校です。私たちは、生徒が音楽をより身近に親しみやすく感じて欲しいと思い、コンサート形式よりも個別にクラス訪問をすることにしました。多くの生徒は明らかに音楽を楽しんでいて、身体を動かして音楽を体現していました。これまでネパールで感じたことは、ほとんどの子どもたちがクラシック音楽を聴くのが初めてであるにもかかわらず、反応がとても好反応で、直感的だったことです。

最後に、たくさんの古い寺院があるカトマンズの谷の3つの古代広場の1つであるパタン・ダルバール広場を通りました。地震によって多くの古い寺院が瓦礫となってしまった無残な様子は、本当に胸が痛みました。保存と修復の取り組みがフルスピードで行われているにもかかわらず、この国の宝がどれくらい修復されるのだろうかと思ってしまう。それでも、地震に対するネパールの人々のとても強く勇敢な様子は、心強く感じました。地震から1年経ちましたが、まだなお多くの破壊されたビルや道、遺産が残っています。けれどもネパールの人々は、喜びを見つけ満足するという、過去よりも未来に期待を抱いて生活しています

マイケル・カッツのブログより

【カトマンズ】

プログラム19 Hilfe für Nepal／児童養護施設

日 時 12月28日(水)
参加者数 約135名(子ども120名、その他15名)

ドイツ人女性 Ellen Dietrich (エレン・ディートリヒ) によって設立された児童施設。高学年と低学年の2回のコンサートを実施。



プログラム20 Samakhushi English

Boarding School／学校

日 時 12月28日(水)
参加者数 約650名(生徒600名、その他50名)

上記児童養護施設の子どもたちも通っている学校を訪問し、全クラスで演奏。



プログラム21 Kathmandu University Music Department／カトマンズ大学

日 時 12月28日(水)
参加者数 約25名

カトマンズ大学音楽学部の建物は2015年のネパール大地震によって完全倒壊したため、一般家庭に集まってもらい、演奏を披露。彼らからも、ネパールの音楽を紹介。



認定NPO法人 **ミュージック・シェアリング**

〒102-0092 東京都千代田区隼町2-12 藤和半蔵門コープ708
TEL : 03-3261-1855 FAX : 03-3261-1856 Email: info@musicsharing.jp
<http://www.musicsharing.jp/>

